

計画の内容について

No.	意見等の概要		宇治市教育委員会の考え方	修正
1	読む楽しさ、学ぶ喜びを創出する図書館	自治会等の高齢者の集まりにも「出張おはなし会」として参加し、健康関連の本の紹介や読書相談を行ってほしい。	高齢者サロン等への出張おはなし会はすでに実施しているところですが、今後さらに充実を図るため、P12(1)全ライフステージの読書活動支援・具体的な取組・(高齢者)に、「●高齢者サロン等への出張おはなし会の拡充」を追記いたします。	有
2	〃	図書館振興財団主催の「図書館を使った調べる学習コンクール」に参加を期待する。	いただきましたご意見につきましては、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。	
3	〃	蔵書数が同規模の市町の平均を大きく下回っている現状を「蔵書スペースが限界だから」と片づけるのは残念である。図書館予算を増やし、魅力ある蔵書数の拡充と蔵書スペースの増設を第3次計画に盛り込んでほしい。	P13(3)幅広いニーズに応える資料収集と蔵書の充実に記載のとおり、資料の適正な収集と蔵書の充実に努めてまいります。	
4	〃	蔵書数を増加させることよりも、新しい書籍を充実するとともに読書スペースを増やし、居心地の良い図書館にしてほしい。		
5	〃	話題の本を充実させ、長く待たずに借りられるようにしてほしい。		
6	〃	漫画を正式な資料として加えるよう検討を求める。	漫画も一部所蔵しているところですが、P13(3)幅広いニーズに応える資料収集と蔵書の充実に記載のとおり、資料の適正な収集と蔵書の充実に努めてまいります。	
7	〃	P13(3)幅広いニーズに応える資料収集と蔵書の充実「郷土資料・行政資料等のデジタル化」と記載されているが、市民のボランティア活動も考えているのか。	デジタル化の手法については、今後検討してまいります。	
8	〃	調べ学習支援図書リストの作成に加え、それらの本を用意し常に学校との連携で活用されるような体制がとれると良い。	P13(4)学校等との連携に記載のとおり、今後も連携に努めてまいります。	
9	情報の拠点として地域を支える図書館	レファレンスには気軽に質問、声かけが出来る雰囲気大切である。看板を掲げ、周知や場の設定もあれば、少しは進むのではないだろうか。	相談や質問等気軽にお声がけいただけますように、フロアワークの充実とわかりやすい館内表示に努めてまいります。	
10	〃	図書館利用者を増やす手段として、レファレンスを強化すべき。(気軽に図書館員に相談できる状況にする工夫が必要)		

No.	意見等の概要		宇治市教育委員会の考え方	修正
11	〃	P16(2)ICT化の推進 「館内Wi-Fi環境の整備の検討」と「インターネットやスマートフォンの活用を支援する取組」と記載されているが、第2次事業計画での具体的な進捗は何か。	「図書館の便利なインターネットサービス使い方講座」やWEB利用者カード(スマホ貸出券)等の取組を実施いたしました。	
12	〃	図書館利用者を増やす手段として、電子図書館を拡充すべき。	P15(2)ICT化の推進に記載のとおり、電子図書館サービスの充実に努めてまいります。	
13	〃	各種ブックリスト作成は参考になる。宇治コーナーのブックリストも期待したい。	P16(3)課題解決支援サービスの充実に記載のとおり、取組を進めてまいります。	
14	すべての人にやさしい図書館	P18 (1)図書館の利便性向上 ・「病院や施設等への団体貸出の検討」に医療分野や福祉分野との連携を含めて検討してほしい。(図書館活動の多面的な展開を図るため) ・「オンラインによるレファレンス対応の検討」の他に、「出前レファレンス」を検討に加えるべき。(庁内関係部署・地域・大学等と連携した事業や宇治に関するイベントや講座の機会を有効活用する)	いただきましたご意見につきましては、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。	
15	〃	図書館が遠くて交通の便も悪いと利用したくても出来ない。図書館だけでは解決できない(交通問題)が、1割にも満たない利用率はもったいない。利用者を増やす方法を他事例に学びたい。(市民として何が出来るか、考えたい)		
16	〃	利用者を増やすため、配本所を不便地域の学校に設ける、駅に24時間返却出来るブックポストを置くなど具体的に検討していただきたい。	いただきましたご意見につきましては、今後の図書館サービスのあり方を検討するにあたり、参考とさせていただきます。	
17	〃	手に取れば読みたい本があるのに遠くて行きづらい。		
18	〃	市内各駅に返却ポストの設置をしてほしい。		
19	〃	図書館法で「自動車文庫、貸出文庫の巡回」を含む施策の実施に努めることがうたわれており、自動車文庫の復活を強く要望する。現在の図書館利用者の56%以上が60～80代で、宇治の図書館を利用しない主な理由に「距離が遠い」「交通便が悪い」が挙がっており、高齢者の免許返納も利用しにくい。他市は自動車文庫の巡回を増やして利用者を伸ばしている。依然として紙媒体の需要は多いため配慮してほしい。	利用者の大幅な減少等により平成15年に移動図書館を廃止し、予約図書配本サービスを開始しました。今後も、P18(1)図書館の利便性向上に記載のとおり、電子図書館サービスをはじめ、出張貸出の拡充等非来館型サービスの充実に努めてまいります。	
20	〃	図書館利用者を増やす手段として、自動車文庫の復活をしてほしい。		
21	〃	利用者と図書館司書との交流が見える機会創出やリーディンググループの設置と利用者からのフィードバックの把握、「りんごの棚」の実現を期待する。	P18(2)要配慮者へのサービス充実に記載のとおり、取組を進めてまいります。	

No.	意見等の概要		宇治市教育委員会の考え方	修正
22	〃	リクエストなど図書館サービスが周知されていないのを感じる。理解・利用を広げる方法を考えたい。	P20(4)図書館利用の促進に記載のとおり、利用者にわかりやすく効果的な情報発信に努めてまいります。	
23	〃	「やさしい日本語」のミニ講演会(講座)があってもいいのではないか。	いただきましたご意見にもとづき、P19(3)多文化対応サービスの充実・具体的な取組に、「●「やさしい日本語」への理解促進のための講座等の実施」を追記いたします。	有
24	〃	「市民主体の取組みの支援」「ボランティア育成の研修会の実施」「ボランティアとの協働の推進」などが挙げられているが、ボランティアの声を聞く場も少ないし、一緒に取り組むよりはお願いして決めておられる範囲以内で活動をさせて貰っているような雰囲気を感じる。交流や新しい活動を作り出せるような雰囲気づくりを希望する。	いただきましたご意見につきましては、今後の図書館サービスのあり方を検討するにあたり、参考とさせていただきます。	
25	〃	関連機関との連携や交流事業という言葉も今回の計画では、意識して策定されているのを感じた。	P19(3)多文化対応サービスの充実に記載のとおり、引き続き取組を進めてまいります。	
26	人とともに成長する図書館	P21(1)事業計画「施策の達成状況についての点検評価の実施」と記載されているが、評価に基づく改善はどのように考えているのか。(PDCAサイクルの位置づけとして十分か)	施策ごとに取組状況等点検評価を行い、評価の理由・課題を洗い出し、課題について具体的な改善方法等を検討してまいります。	
27	〃	生涯学習審議会では図書館についての討議が深まらない。図書館協議会を復活してほしい。	平成17年5月に図書館協議会は解散いたしましたが、その機能は生涯学習審議会に統合し、図書館に関する案件については図書館情報学を専門とする委員会を中心に、検討していただいているところです。	
28	〃	P15(1)情報サービスの充実「レファレンス研修への参加」と記載されているが、P21の「(2)図書館職員の資質向上 具体的な取組」に記載すべき。(職員の研修に関する事項と考えられるため)	いただきましたご意見にもとづき、P21(2)図書館職員の資質向上について、「・・・京都府等が実施するレファレンス研修をはじめとする外部研修への参加・・・」に修正いたします。	有
29	〃	P21(2)図書館職員の資質向上「専門性の高い職員の育成」と記載されているが、レファレンスに必要な専門知識やコミュニケーション能力等の専門性について追記すべき。(P4の「4 レファレンス」でも必要性が強く記載されているため)	いただきましたご意見にもとづき、P21(2)図書館職員の資質向上・具体的な取組について、「●レファレンスや情報検索等に関する専門性の高い職員の育成」に修正いたします。	有

要望・その他

No.	意見等の概要		宇治市教育委員会の考え方	修正
30		市民ニーズ調査で挙がる「距離が遠い」「交通の便が悪い」という理由は実感として正しく、図書館を増やせないならせめて図書館へのお出かけ支援をするべき。	いただきましたご意見につきましては、今後の図書館サービスのあり方を検討するにあたり、参考とさせていただくとともに、お出かけ支援の所管課にも共有いたします。	

No.	意見等の概要	宇治市教育委員会の考え方	修正
31	非正規ではなく正規職員(司書資格者)とするべき。		
32	居心地の良い図書館、Wi-Fiなどの設備、蔵書の少なさなどは利用率を上げるのに欠かせない要素で毎回上げられているが具体案が無く難しそうに思える。	いただきましたご意見につきましては、今後の図書館サービスのあり方を検討するにあたり、参考とさせていただきます。	
33	WEBで延長できる点は評価する一方で、以下を指摘・要望する。 1. 画面表示や遷移のデザインが悪く改善が必要。 2. マイページのが約1日遅れるため最新状況に基づく行動が取りにくい。		
34	館内無料Wi-Fiは図書館本来の業務から外れるのではないかという疑問がある。		
35	人気本に予約が集中して借りられないことが多いので、少なくとも1冊は館内閲覧用に確保してはどうか。	いただきましたご意見につきましては、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。	
36	計画の趣旨で「図書館利用の促進」を最重要項目に置き、課題解決や多文化サービスなどを明文化している点は評価できる。文字が大きく読みやすいことも利点である。一方で「取り巻く状況」では同じ表現が繰り返され、抜本的な改善策(図書館行政の予算を含む)が示されず進展が感じられない。計画期間を表形式で示している点は、文章のみより把握しやすく好ましい。		
37	子ども連れや大人の大声での会話が目立ち、とても図書館とは思えないときがある。対処をお願いしたい。		
38	宇治市図書館の沿革:宇治市図書館の令和5年度年報に記載されている「図書館の沿革」の掲載項目と一致していない箇所がみられるので、統一するべき。	事業計画の沿革は抜粋して記載しております。	
39	P2 4要配慮者へのサービスの充実「…、来館・非来館、障害の有無、年齢に関わらず、すべての市民が図書館や読書に…」を「…、障害の有無等に関わらず、図書館や読書に…」に修正するべき。	障害の有無だけでなく、配慮を要する人を例示的に記載しております。	
40	P3 3計画期間 の表中に記載されている「宇治市子どもの読書活動推進計画(第三次推進計画)」に関する説明を追記するべき。	P23 資料1の用語解説に記載いたします。	有
41	「宇治市子どもの読書活動推進計画(第三次推進計画)」の中期に向けての見直しとの整合は図られているのか。	P2 2計画の位置付けに記載のとおり、整合を図って計画を作成しております。	
42	P5(2)課題 最下段の○ 後半の「また、学校図書館だけでなく、学校現場との更なる連携強化の必要があります。」の記載については、具体的な解決策を記載するべき。	P5(2)課題 4項目を「子どもの読書活動の推進のため、学校図書館や学校現場との連携を強化し、市立図書館と学校図書館の取組について、相互に理解を深め、読書や図書館利用のきっかけとなるような取組を進める必要があります。」に修正いたします。	有

No.	意見等の概要	宇治市教育委員会の考え方	修正
43	第2次事業計画では、「市民サポーター制度の導入の検討」と記載されていたが、検討結果はどこに記載されているのか。	具体的な導入に至らなかったため、検討結果についての記載はありません。	
44	庁内関係部署・地域・大学等と連携した事業の実施回数。宇治に関するイベントや講座の実施回数：回数も重要な指標と考えられるが、参加人数の指標化は可能か。	図書館の活動状況の指標として、実施回数を指標としているところです。	
45	研修参加人数：指標値として令和11年度の参加人数(62人)が記載されているが、この数値はどう評価されるのか。例えば、職員1人当たりの研修回数とか、利用者アンケートによる評価等も追加することは検討されているのか。(図書館で勤務している職員数や1年に同一職員が複数回の研修を受講するのも記載されていないため)	研修参加人数は延べ人数を表しており、職員の資質向上を図るため、今後の積極的な研修参加を目指しているところです。	
46	私物の資料を持ち込んでの閲覧スペースの利用を弾力的に認めてほしい。関連する図書を閲覧出来ると効率的に学習出来ると思う。	学習のためのスペースの確保については、課題と認識しているところです。いただいたご意見につきましては今後図書館サービスのあり方を検討するにあたり、参考とさせていただきます。	
47	無料で自習できるスペースがなく、塾に通わざるを得ないため、東宇治図書館に自習できる机を1台のみでいいので設置してほしい。		
48	子育てに関わる大人たちが、集い憩いの場となる「絵本館」を、茶づなに作ってほしい。	本計画はソフト面を中心とした図書館サービスの目標や方向性を示すものです。いただきましたご意見につきましては、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。	
49	選書の方針を書くべき。	選書も含めた資料の収集方針については、P13(3)幅広いニーズに応える資料収集と蔵書の充実に記載しているところです。	
50	図書館の窓口に「ご案内」または「受付」の看板を掲げてほしい。	気軽にお声がけいただけますように、わかりやすい館内表示に努めてまいります。	
51	「セカンドブックリスト」「れもんブックス図書リスト」は評価できるが、ほとんどの人が知らないので工夫してほしい。	P20(4)図書館利用の促進に記載のとおり、利用者にわかりやすく効果的な情報発信に努めてまいります。	